

会 議 録

1 会議名

第21回上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進会議

2 議題（公開・非公開の別）

(1)次期上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画について（公開）

- ・第20回推進会議の意見と対応について
- ・総務常任委員会所管事務調査の意見と対応について
- ・パブリックコメントで寄せられた意見と対応について

(2)平成26年度推進計画の進捗状況について（公開）

(3)今後のスケジュールについて（公開）

3 開催日時

平成27年2月25日（水）午後1時30分から午後3時まで

4 開催場所

上越市役所 4階 402・403会議室

5 傍聴人の数

0名

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：杉本会長、矢部副会長、春原委員、飯塚委員、藤田委員、柳澤委員
市橋委員、山本委員、品川委員、君波委員、竹田委員、宮川委員
渡邊委員、岩井委員、野澤委員、宮崎委員
- ・事務局：防災危機管理課 橋本参事、江口課長、丸田係長、藤原係長

8 発言の内容

1. 開会

2. 杉本会長あいさつ

3. 議題

(1)次期上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画について

杉本 会長： それでは、議題に入ります。

議題（1）次期上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画の

うち、配られております資料1、第20回推進会議の意見の対応について、資料2の市議会の総務常任委員会所管事務調査の意見と対応について、資料3のパブリックコメントに寄せられた意見と対応について事務局より説明をお願いします。

江口 課長： 資料等に沿って説明

藤田 委員： 上越警察署生活安全課長藤田です。

防犯カメラの関係では、今県警察本部で大手町小学校前の歩道などに6台取り付けられていますが、現在は試験運用中です。

どれくらいの範囲でどれだけ映せばよいのかなどを確認し、その結果を踏まえて、3月中旬から本格的に運用できるようにしていきたいと思います。

江口 課長： 藤田委員ありがとうございました。

以上で説明を終わりたいと思います。

杉本 会長： ただいま、江口課長から報告があった内容について、何かご質問、ご意見などがありましたら、お願い致します。

渡邊 委員： 11ページの来越者の安全確保について、新幹線開通に伴い、最近テレビで外国人旅行者が日本に来て、商品を大量買いするという放送がございました。

外国人が、新幹線などの高速交通を利用して、来越者が多くなることについてどう考えていますか。

受け入れ側が防犯の取り組みをするのはいいのですが、来た人が犯罪を起こした場合の対応についてお聞きしたい。

江口 課長： 改めて外国の方ということでの議論はしていません。

外国の方は、上越市にもお住まいでいますし、来越される方も日本の方だけではなく、外国の方もおられます。

それから、犯罪の対応につきましては、推進計画は、あくまでも防犯にかかわる関係機関が協力して住みよい地域を作っていくという推進する計画になりますので、特段取り締まりなどは記載していない状況にあります。

渡邊 委員： ありがとうございました。

杉本 会長： ほかに意見はございませんか。

宮崎 委員： 今議題について説明をいただきましたが、事務局として、今の説明をもって安全安心推進計画について、本日お示しの別冊の中に入っていて、これをもって当推進会議の回答がまとまったということをお求められているのですか。この先はあるのですか。

江口 課長： 推進計画につきましては、今年度4回目になりますが、それぞれ審議を頂きました。

会議でいただいた意見を反映しつつ、別冊のようにまとめてきた内容です。

本日最終的な意見の対応について、整理したものを製本として配布したいと考えております。

杉本 会長： 宮崎委員よいでしょうか。

宮崎 委員： はい。

杉本 会長： その他の意見はありませんか。

それでは、ご意見、ご質問がないようですので、ただいま事務局から報告がありました、資料1から資料3までの意見と対応については、了承することとして、よいでしょうか。

各 委 員： はい。

江口 課長： ご了承頂き、大変ありがとうございました。

今ほど申し上げたとおり、今年度4回開催しましたが、事務手続きの遅れから急きょ資料を送らせていただくなど、不備もありましたが、色々ご審議を頂きありがとうございました。

上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画の案につきましては、本日の会議でいただいたご意見を整理しながら、市長に報告をしたいと考えております。

なお、別冊で配布しました、推進計画の第2章、犯罪の減少と市民の意識等につきましては、整理のほか資料の年度集計部分が3月31日現在の最終のものを差し替えて配布させて頂きたいと思っております。

そのほかに別冊の24ページから38ページまでの前計画でまとめた地域特性、年度ごとの市政モニターアンケート結果、65ページのこども110番の家の実施体制図につきましては、資料編にまとめ完成したものを報告したいと考えております。

以上ありがとうございました。

杉本 会長： ありがとうございました。よろしくお願い申し上げます。

次期上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画については、
今ほど皆さんからお認め頂きましたとおりに進めて頂きたいと思えます。

続いて資料4、平成26年度推進計画の進捗状況について事務局の
説明をお願いします。

(2) 平成26年度推進計画の進捗状況について

藤原 係長： 資料に沿って説明

杉本 会長： 只今3つの観点から推進計画の進捗状況について説明がありましたが、何かご質問、ご意見ありましたらお願いします。

品川 委員： 資料4の2地域づくりでボランティア活動の固定化とありますが、
高齢化のことでしょうか。

藤原 係長： ボランティア活動を行う方が決まった方、つまり固定化していること
が伺えるとの意味です。

品川 委員： 安全教室のところで、平成27年度の保育園や小学校の実施回数の
説明がありましたが、それは上越市内のどれくらいの割合になるの
ですか教えていただきたい。

もう一つが安全メールですが、うちの会社では法人契約している携
帯電話で安全メールに登録し、その携帯電話を社員が持っています。

この安全メールが来ると、みんながメールの内容で話題が生まれま
す。

企業としては、個人の携帯電話でも登録が可能なのですが、今
の時代は法人の契約が多いと思えます。

企業の皆さんに、法人契約の携帯電話で安全メールに登録をお願い
する文書を出したほうがいいのではないかと思いますので、お願いし
ます。

杉本 会長： 品川委員さんのご意見について事務局お願いします。

藤原 係長： 安全教室の関係ですが、市内に保育園、幼稚園は私立含め73園あ
り、来年度は36園を予定しております。保育園、幼稚園については、
例年全園の2分の1の園を対象に開催をしております。

小学校につきましては、53校のうち45校を対象に開催予定であ

ります。

安全メールの関係ですが、企業に対し、安全メールへの登録依頼を行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

杉本 会長： その他にありますか。

野澤 委員： 本日の資料の中で、バロメータが下がっているという説明がありましたが、視点を変えると例えば意識づくりでは防犯活動が半減したり、アドバイザーの派遣回数や安全メールの登録者数も減少していることから、関心度が落ちていく流れになるのかもしれませんが。

参加意識でも、参加意識が下がっていますが、主要事業の中にも数値が下がっている事業との関連があるのではないかと思います。

逆に体感治安が上がっていますが、このアンケートの数値結果だけ分析してこうなったという答えではなく、私達がここで決めて行ったことが、バロメータに繋がったというのも見逃せないと思います。

実施回数の中で、なぜ回数を減らしたのか、なぜ減ったのかというのをもう一度分析、検討して、やり直すと、来年の結果を見れば内容が分かるのではないかと思います。

件数の中で、犯罪被害者支援で、犯罪支援の対象件数が増えていますが、何か理由があるのでしょうか。

杉本 会長： 事務局お願いします。

藤原 係長： 今ほど野澤委員様から頂いた案件につきましては、引き続き分析、検証を行い、平成27年度以降の次期計画に反映していきたいと思います。

犯罪被害者支援のご質問ですが、DV、ストーカー、家庭問題など色々な相談が男女共同参画推進センターや高齢者支援課に寄せられていることは伺っています。

杉本 会長： 野澤委員さんよろしいでしょうか。

野澤 委員： それは、相談体制が整って良くなったのか、世の中が不安定でこれからしっかりやりましょうというのか分かりませんが、その点いかがでしょうか。

杉本 会長： 率直に感じることを話し合ったほうが良いのではないかと思いますので。

数値的に判断して良いのかというのがあるのですが、皆様のお考えがありましたら、お願いします。

橋本 参事： 元警察署長ですので、知っている範囲でお答えします。

犯罪被害者支援というのは非常に行政も遅れている部類にあります。性犯罪はなかなか相談にはおいではなりません。

大変な交通事故に遭われ、死亡事故で家族が亡くなった方は思い出したくないことから、犯罪被害者支援の担当に顔を向けたがらない。というのが現状でしたが、だんだん啓発や、呼びかけに応じて心を開いてくれるようになったというのが最近の傾向です。

数字の内容については、詳しいものはありませんので、なぜ増えたのかまではお答えできませんが、今まであまり目配りができなかった分野に少しずつ行政や警察の手が入って、被害者の方、トラウマになっている方が心を開いて相談に乗っていただけるようになったという風潮は確実に増えてまいります。

数字的なことは、ご説明できませんが、傾向として、そのような傾向というふうに考えております。

杉本 会長： ありがとうございます。

他にご意見はありませんか。

宮川 委員： 事業者の防犯活動として、来月八千浦地区の商工振興会、町内企業で計画し、市からも来ていただけることになっています。

全部で30社程度になりますが、その中で市との懇談会を10社程度でやりますが、その懇談会で企業は何ができるのか、防犯意識を全体で向上させる為には、企業の意識というのも大事だと思うので、企業のトップの意識を変えると、スタッフも意識が変わると思います。

この懇談会で、意見を聞き出していただき、企業の中に入り込んで考えてもらいたいと強くお願いしたいと思います。

よろしくお願いします。

杉本 会長： それでは、他に意見がなければ、只今事務局から報告がありました、平成26年度の推進計画の進捗状況について、了承することとしてよいですか。

各委員： はい。

(3) 今後のスケジュールについて

杉本 会長： それでは、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

藤原 係長： 今後のスケジュールについて、ご説明します。

今回の第21回推進会議をもちまして、委員の皆様のご協力により、今年度の予定しておりました推進会議はすべて終了となります。

また、皆様が現在務めております、第4期の任期も今年度で終了となります。

平成27年度は、新たに第5期の委員を構成して、推進計画の進捗状況を審議いただきたく思っておりますので、よろしくお願ひします。

杉本 会長： ただいま今後のスケジュールについて説明がありました。

何かご質問やご意見はありませんか。

ご意見等がなければ、今後のスケジュールについて、了承することによいでしょうか。

各委員： はい。

杉本 会長： ありがとうございます。

全体を通じてご質問、ご意見はありませんか。

私としては、野澤委員さんから話がありましたように、多くの回数をかけて市民に話しかけたり、あるいは活動を多くやることによって良くなっていくものもあると思います。

回数が少なければ、それと比例して悪くなるかもわかりません。

ただその数が多かったから、少なかったからじゃなくて、確率的な考え方、例えば50回したらこの結果、100回したらこの結果というように、その数字が確率的に同じであれば、やった回数が少なくて結果の数字があっても、それが倍やったら倍に落ちたことも確率的にみれば無いというのであれば、これらの説明が成り立つのではないかと私は思います。

お分かりになるか分かりませんが、野澤委員いかがでしょうか。

野澤 委員： 同じことで、一応その結果が出ているので、それを単年度でしか見えていないので、いくつか見せていただければ、今お話しにあったような傾向が分かるのであれば、論理として説明がつくので、増

やしていきましょうとか減らしましょうとか、施策結果が明らかになるので、その分析をしていただきたいと思います。

杉本 会長： ありがとうございます。

私どもの町内には放送設備がございます。

先日刃物を持った男の目撃情報について、市の安全メールがありましたが、その情報を知っていたのは私だけで、町内の人は知らなかったのです。

安全メールを登録していない方は、情報がわからないことから、その人とすれ違った方も、何もわからない状態であることから、放送で町内に情報を流してもいいのかと思います。

あるいは、特殊詐欺の情報がメールで来たときに、町内に放送を流すことによって、町内の人の関心をより進めていくには、町内会長さんたちがどんどん安全メールに入っていた方がいいのではないかと思います。

他にご意見などはありませんか。

岩井 委員： 前回会議で防犯懇談会に企業を入れた活動が必要になるのではないかという話がありましたが、平成 18 年ころに地区防犯懇談会がありましたが、その後は消滅していると思います。

地区防犯懇談会は、各区で独自にするのか、市が主導でやるのか、現在の状態を教えてもらいたい。

また、各区の特徴が詳細に記載されていて、資料として付けるのか伺います。

江口 課長： 企業への関係では、前回の推進会議で宮川委員さんからご意見をいただき、3 月頃に防犯研修会の席で、市の考え方などの話をしていただきたいことから、研修会に参加させて頂きたいと思います。

防犯懇談会の関係では、平成 18 年に安全安心まちづくり条例を施行し、19 年から推進計画を作るにあたり、各区の地域特性を把握するため、防犯懇談会を開催しております。

今回は、前計画の内容を踏襲しつつ、現在の状況に合わせて次期計画を作成したことから、防犯懇談会については、今回行っておりません。

前回の防犯懇談会の内容等につきましては、資料編にまとめていき
たいと考えております。

岩井 委員： 懇談会というのは、地区の特徴というのがありますが、各地区の意
見集約するために、集まった懇談会でよいのではないかと思います。

ありがとうございました。

君波 委員： 今学校関係では、保護者の方に学校からメールが入ります。

例えば、大潟区では、前回の鶴の浜で起きた事件等は、学校の方か
ら我々防犯ボランティアに対して見守りの強化をしてほしい旨のメー
ルが入るなど、地域と防犯ボランティアの連携が取られていると思
います。

もう一つは、各区の防犯組合、防犯関係者、町内会長の防犯に関す
る温度差があると思います。

私も大潟区の防犯組合長をさせていただいているので、そのような
事例があると区の事務所へ行って、防災行政無線でタイミングをみて
放送をしてくれるようお願いをしてきました。

特殊詐欺被害ですとか、市のホームページに載ったことをタイミン
グをみて、放送を流してもらえるよう取り組みました。

このような取り組みの繰り返しが防犯意識の向上に繋がっているの
ではないかと思しますので、このような内容を町内会長の集まりのと
きをお願いして頂ければありがたいと思います。

各区の青少年育成協議会については、各区にそれぞれ地域の子ども
は地域で育てるということで、大潟区では、12月末に臨時総会を開き
地域の取組を強化していくという取組体制を取っています。

全市的な取組ですが、この推進会議も青少年育成協議会とも連携を
取る必要があるように思います。

江口 課長： 安全メールの関係は、先程説明しましたが、加入促進に努めたいと
思います。

防犯に対する温度差というのはあると思います。

13区におきましては、戸別受信機がありますので、それぞれ必要な
情報を放送している状態です。

合併前上越市については、防災ラジオという形態になりますので、

その時々を流すことはできないというのがあります。

防災ラジオについては、ご理解頂きたいと思います。

各中学校区の中で色々な取組をそれぞれ関係者、保護者を含んで取り組んでおります。

今回の推進計画の中には当然取組の内容なりを担当課と協議しながら進めた経緯がありますし、先程説明したように平成26年度の進捗状況につきましても青少年健全育成活動の推進という中の一つとして取り組んでいくことになっております。

細かい活動内容までは把握していない部分もありますが、現在青少年育成会議については、22の中学校区に1つの協議会が設置され、各部会が設置されております。

協議会を所管する生涯学習推進課には情報の協力をさせて頂いております。よろしく申し上げます。

宮川 委員： 消防団は、企業に消防団協力事業所ということで、市から協力を頂いて、100何十社が協力しています。

防犯についても、防犯の協力事業所を作った方がいいと思います。

こども110番の家は地域に小さな事業所がありますので、そのような事業所をまとめるようなことを考えて頂ければ、市と組織の関係というのも、これから作っていかねばなりません。消防団の協力事業主という組織を見本にして、防犯の協力事業所をこうやって作っていけばいいという意見を聞いてもらいたい。

3月に防犯研修会を行い、そこでの意見を吸い上げてもらい、実際事業所は、防犯についてどう考えているのか、こういうことなら協力できる、こういうことはできない、などの聞いてもらい、できれば上越市で防犯協力事業所的な組織を作ってはいかがでしょうか。

江口 課長： 防犯協力事業所の関係は、参考にしたいと思いますのでよろしく申し上げます。

杉本 会長： ご意見が出尽くしたと思います。

本日予定しておりました議題は、審議が終了しましたので、これを持ちまして私の議長の任務を閉じさせて頂きたいと思っております。

皆さんご協力ありがとうございました。

4 閉会

9 問合せ先

防災危機管理部防災危機管理課防犯・交通安全係

TEL : 025-526-5111 (内線 1463)

E-mail : bouhan@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。